

経営比較分析表（平成30年度決算）

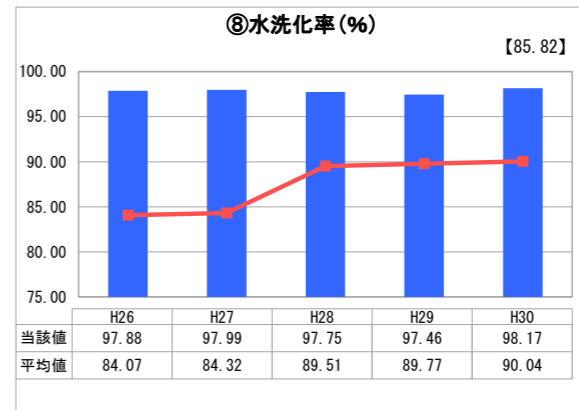
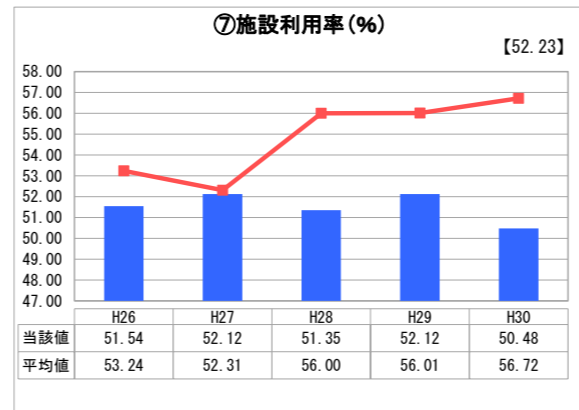
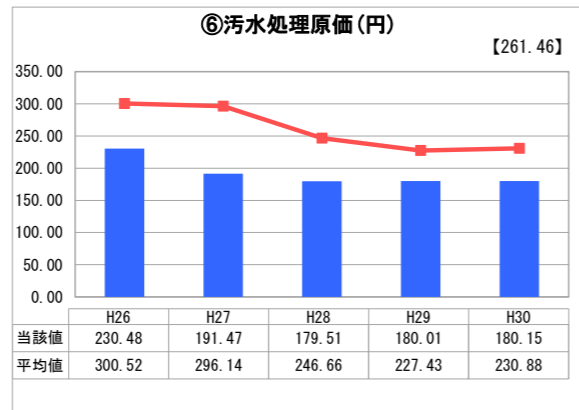
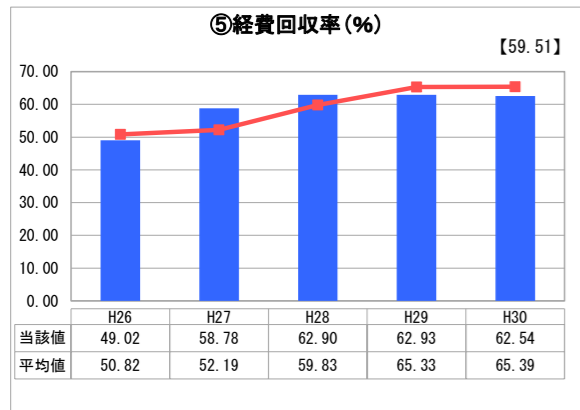
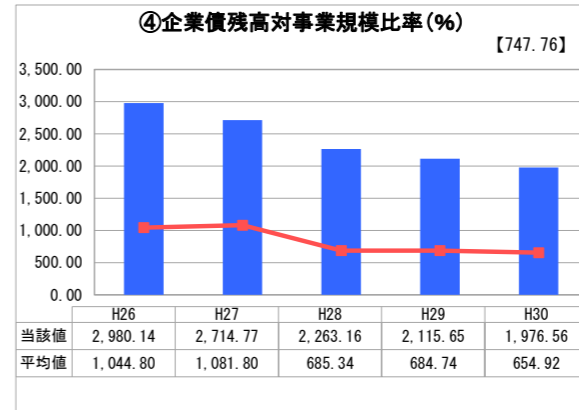
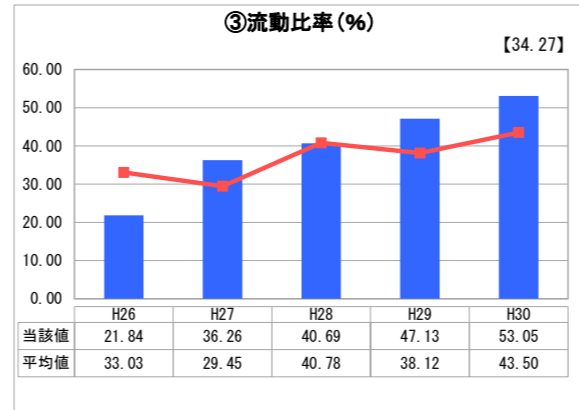
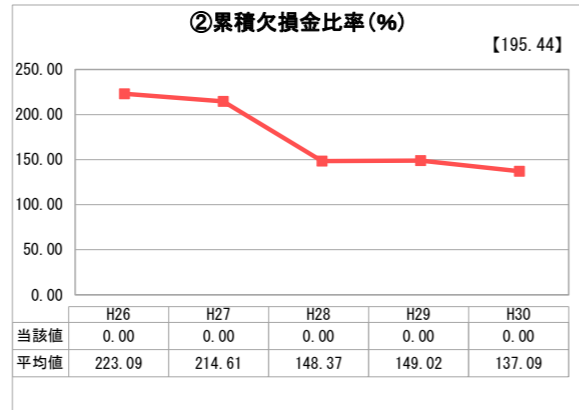
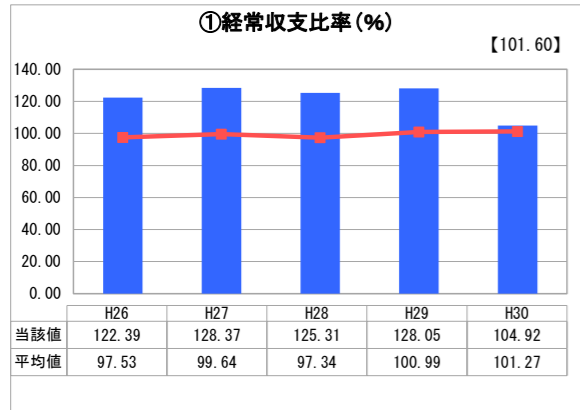
石川県 かほく市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	17.32	13.12	92.93	2,397

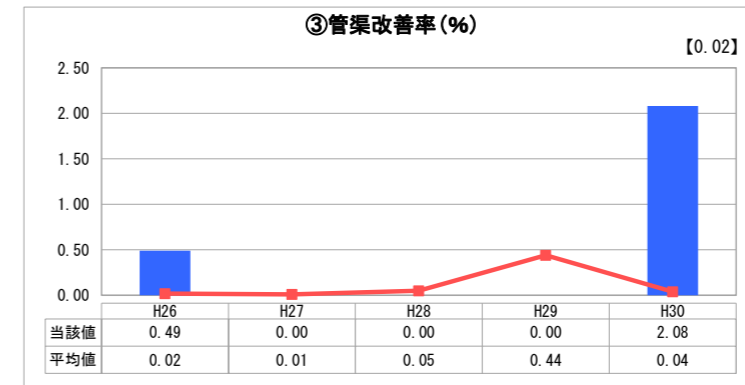
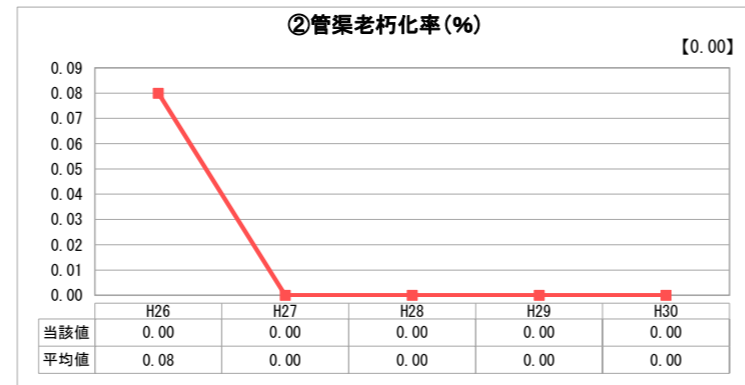
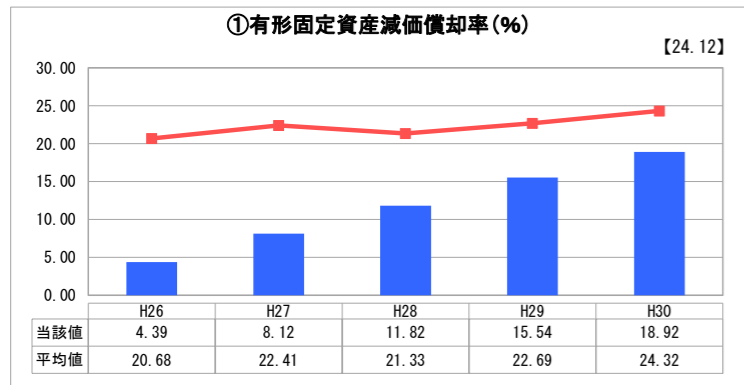
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
35,418	64.44	549.63
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,651	1.75	2,657.71

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営収支比率については黒字を示す100%以上となっているが、一般会計からの繰入金が多く、使用料以外の収入に依存している状況である。また、これまでの設備投資により企業債残高が大きく、経営状況は厳しいものとなっている。経費回収率が低い原因は、施設に対する需要家数が少ないことであり、今後は施設の統廃合を進め、より一層の経営改善を行う。
事業実施の際は、補助金などの財源確保に努めているが、不足分については一般会計からの繰入金により経営安定を図っている状況である。

2. 老朽化の状況について

管渠については現在のところ耐用年数を超過したものはないが、今後もカメラ調査による診断などを行い適正管理を行っていく予定である。また、施設については、年次計画に基づき施設の統廃合を主とした工事を優先して実施している。
なお、工事については国庫補助金等の財源確保に努めている。

全体総括

企業債償還金については、今後ピークを迎えるため経営については厳しい状況が続くが、企業債残高については徐々に減少していくと思われる。
今後は、長期的計画の内容精査を行い、施設の統廃合や老朽化対策などを検討していく。また、経費回収率向上のために使用料改定も視野に入れながら、より一層の経営改善に努めたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。